

令和元年度 東三河地域産業労働会議における主な発言要旨

日時：令和元年 11 月 15 日（金）

午後 2 時から午後 4 時まで

場所：愛知県東三河総合庁舎 3 階 301 会議室

（スタートアップなど新たなイノベーションの担い手）

- ・一番やっていかなければいけないのは、スタートアップの支援だと思っている。東京などはスタートアップがしやすい環境にあるが、この地域は創業を支援してくれるところが少ない。スタートアップに対して、県と商工会議所も含めて支援をすることに力を入れたいと考えている。
- ・新たな発想を持ってすそ野を広げることが非常に大切だと思う。東三河地域は農業従事者が多いので、農産物を加工して販売するという 6 次産業化を方向性の中に入れていただけたらと思う。
- ・ドローンについて、様々な自治体がドローン特区として物流、測量等に取り組んでいると聞いている。先に導入した地域にノウハウが蓄積されると思うので、いち早くドローン特区を研究して取り入れるべきである。
- ・新事業展開について、中小企業では新たな事業展開、研究は難しいと聞いている。大学と企業の連携を支援できないかと思っている。

（事業承継）

- ・事業承継には国も県も支援策等に非常に力を入れている。今回の消費税率の引き上げに続き数年後にインボイス制度が導入されると、ますます事業承継が成り立たなくなって、多くの廃業が出ることを心配している。地元の事業所数が減らないよう、より一層事業承継に力を入れていきたい。
- ・廃業になれば、従業員にとっては働く機会を失うということになる。事業承継の支援として、県も労働組合も様々な取組を進めているが、放置すると問題になると考えている。

（人口減少、高齢化）

- ・経営者の高齢化がかなり進んでいる。愛知県全体としての人口減少はまだ進んでいないが、東三河では人口の減少が始まっているため危惧している。
- ・高齢化が進展すると私病の発症率が高くなると思われる。仕事と治療の両立支援も進めていかなければならない。

（人手不足）

- ・海外からの人材の獲得は、観光を起点として官民一体となって進めることも必要だと思う。
- ・就職氷河期世代で正規に雇われなかった人たちの雇用が実現すれば、人手不足が解決すると思う。
- ・労働組合の考えとして、労働問題では人手不足というのが深刻な問題になってくると思う。
- ・働き方改革と人材確保対策、障害者雇用対策、労働災害防止対策を重点課題としている。その中で、働きやすい職場づくりを推進するため、特に企業支援ヒアリングに力を入れており、人材確保のための様々な支援策を紹介している。
- ・就職氷河期世代が 1971 年～82 年頃、団塊ジュニア世代が 1971 年～74 年頃の生まれで、時期が重なっている。この年代が 2040 年には 65 歳以上になるため、就職をしっかりと確保しないと、経済の機能が揺らぎかねないのではないか。
- ・市の強みである農業でも後継者が不足し、外国人労働者が採用されている。以前は中国出身者が多かったがフィリピン出身等に変更したりしながら人材を確保している。労働の担い手に苦慮しているのが現状である。

(多様な人材が活躍できる環境づくり)

- ・外国人労働者については、日系人や技能実習生、特定技能外国人がいるが、外国人も日本人と同じ労働者として差別なく働ける環境を作ることが大事だと思う。
- ・働き方改革関連法が順次施行される中で、女性の活躍する場が一層広がっている。ワーク・ライフ・バランスについては、経営者の自覚が非常に大切になっている。このようなことを計画に盛り込み、多様な人材が活躍できる環境づくりを進めていただきたいと思っている。
- ・障害のある人にとって、雇用、就業は、社会参加、そして自立のための大きな柱になっている。ただ、中小企業では、まだ障害者雇用に躊躇している企業もあるのが実態である。こうしたことに対処するため、愛知障害者職業能力開発校では、企業に委託し現場で1～3か月間にわたり職業訓練を行うメニューを持っている。もっと利用いただけるようPRしていきたい。

(東三河の特徴)

- ・東三河の特徴にアグリテックの記載があった。この地域は先進農業、植物工場が多いので、農業関係の言葉を入れていただきたい。
- ・名古屋市や製造業が盛んな豊田市に引っ張られるような計画づくりではなく、東三河のこれからを考えていく中で、エリアごとの内容を考慮に入れながら、頑張る中小企業に対してどう支援するかを計画の中に盛り込んでいただきたい。

(観光)

- ・観光の振興については、移動の円滑化、地域の魅力発信をしなければいけない。地域の観光資源の充実や観光振興サービス、観光ボランティア等が必要だと思っている。外国人観光客の受け入れはまだまだ弱いと思っている。
- ・産業としての面だけでなく、情報発信という意味でも観光に力を入れていただきたい。海外などに出て感じるのは、「愛知県」より「名古屋」の方の名前が多く、私たちが愛知県に住んでいることをなかなか分かっていただけないという現状である。
- ・観光面と農業面を少しでも後押しいただけると、産業の面にも繋がっていくと思っている。

(その他)

- ・モノづくり愛知ということで、教育に目を向けるべきではないかと思う。若い世代の育成が重要であり、豊橋と豊川にある東三河地域の工業高校にも、名古屋市の総合工科高等学校のような再編の取組が大事だと思う。
- ・企業誘致にも取り組んでいるが、大きな企業が誘致できたとしても、自動化やAIが発展していて雇用を増やすのは難しいという状況なのかと感じている。
- ・介護や保育、医療事務などなくてはならない職業の人材育成をしている。そうした下支えする部分も盛り込んでいただけたらと思う。